

三ノ一、醍醐雜事記卷七

出典 醍醐雜事記（中島俊司校訂本）

解説 天仁年中（一一〇八〜一一一〇年）に笠置寺山僧の永眞によつて建立された弥勒礼堂（二ノ二ノ一三、笠置寺住僧等礼堂等造営勸進状参照のこと）が大治五年（一一三〇年）に焼亡したとの記事。

大治五年（一一三〇年）庚戌、四月 日、笠置寺礼堂焼亡し、仏の御足焼けると云々。